

# JIS

## 織物及び編物のスナッグ試験方法

JIS L 1058 : 2021

(JTETC/JSA)

令和 3 年 8 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒井 信介	横浜国立大学
(委員)	秋山 進	元株式会社デンソー（公益社団法人自動車技術会）
	安部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	市川 直樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	大瀧 雅寛	お茶の水女子大学
	奥野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木村 一弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	木村 たま代	主婦連合会
	佐伯 誠治	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎名 武夫	千葉大学
	寺家 克昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清家 剛	東京大学
	千葉 光一	関西学院大学
	寺澤 富雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	中川 梓	一般財団法人日本規格協会
	奈良 広一	長野計器株式会社
	西江 勇二	一般財団法人研友社
	久田 真	東北大学
	藤本 浩志	早稲田大学
	星川 安之	公益財団法人共用品推進機構
	松橋 隆治	東京大学
	棟近 雅彦	早稲田大学
	村垣 善浩	東京女子医科大学
	山内 正剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	山田 陽滋	名古屋大学
	和辻 健二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 58.10.1 改正：令和 3.8.20

官 報 掲 載 日：令和 3.8.20

原 案 作 成 者：一般社団法人繊維評価技術協議会

(〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 12-9 滋賀ビル TEL 03-3662-4665)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 試験の種類	1
5 試験条件	2
6 試料及び試験片の採取及び準備	2
7 試験方法	2
7.1 A法（ICI形メース試験機法）	2
7.2 C法（針布ローラ形試験機法）	5
7.3 D法（ICI形ピリング試験機法）	7
8 試験報告書	11
解 説	16

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人繊維評価技術協議会（JTETC）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS L 1058:2011** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

# 織物及び編物のスナッグ試験方法

## Test methods for snag of woven fabrics and knitted fabrics

### 1 適用範囲

この規格は、織物及び編物のスナッグ試験方法について規定する。

### 2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS B 4751-1** ハクソー 第1部：ハンドハクソーの寸法

**JIS C 2336** 電気絶縁用ポリ塩化ビニル粘着テープ

**JIS G 3141** 冷間圧延鋼板及び鋼帯

**JIS G 3506** 硬鋼線材

**JIS L 0105** 繊維製品の物理試験方法通則

**JIS L 0208** 繊維用語－試験部門

**JIS L 1076** 織物及び編物のピリング試験方法

**JIS R 6251** 研磨布

**JIS Z 8401** 数値の丸め方

### 3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS L 0105** 及び **JIS L 0208** による。

### 4 試験の種類

試験の種類は、次による。

- a) **A 法 (ICI 形メース試験機法)** 主に薄地及び密度の粗な生地を除く織物・編物に適用する。
- b) **C 法 (針布ローラ形試験機法)** 主に柔軟な生地を除く織物・編物に適用する。
- c) **D 法 (ICI 形ピリング試験機法)**
  - 1) **D-1 法 (ダメージ棒を回転箱に取り付ける方法)** 主に織物・編物に適用する。
  - 2) **D-2 法 (ピンを回転箱各面に取り付ける方法)** 主にかさ高加工糸を用いた織物に適用する。
  - 3) **D-3 法 (金のこを回転箱内の2面に取り付ける方法)** 主に厳しい着用条件の下で使用される織物・